

令和3年度「やまがた緑環境税」活用事業（ハード） 取組みの考え方

資料3-1

(単位：千円)

区分	事業名	担当課	事業の概要	事業量等 (年間計画)	R2当初予算額 ()は国庫補助金みの額	令和3年度の事業取組みの考え方
I 環境保全を重視した 施策の展開	① 環境保全を重視した森林整備の推進					
	□ 荒廃森林緊急整備事業	森林/ミクス推進課	長期に管理放置された森林を整備し、森林の公益的機能を確保			全体計画の達成に向けて、着実に森林整備を進めたい。
	人工林整備		スギなどの人工林を整備し、公益的機能の確保及び維持を図る	730 ha	242,266 (320,638)	-手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林について、間伐や森林作業道の開設などを行い、森林の公益的機能を持続的に発揮させたい。また、森林経営計画内の荒廃森林の間伐と森林作業道の開設を積極的に推進し、森林組合等による長期受託による健全な森林経営に繋げたい。 -水源かん養機能、土砂流出防止機能等の公益的機能の維持増進を重視して、森林整備を進めたい。
	○ 手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備		やまがた緑環境税による整備	367 ha	204,463	
			国庫補助事業を活用した整備 (森林環境保全直接支援事業、合板・製材生産性強化対策事業等)	363 ha	37,803 (116,175)	
	里山林整備		病害虫被害木の伐採等	390 ha	268,094	病害虫等被害で活力が低下した里山林の公益的機能の回復を目指すため、被害木の伐採や補植を行い再生を進めたい。
	○ 病害虫等で荒廃した里山林の再生	・ 病害虫や風雪害等により、自然回復出来ない里山林の整備	340 ha	231,893		
		・ 森林景観整備・人と動物との共存林整備(市町村補助)	50 ha	36,201		
		(小計)		1,120 ha	510,360 (588,732)	
	② 環境資源の循環利用の促進					
	□ 森林資源再生事業	森林/ミクス推進課	森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築	145 ha	22,400	造林未済地の解消に向け、主伐後に再造林を行う仕組みを早急に構築し、森林保全と木材利用が両立された持続的な森林管理を推進するため、再造林の支援を拡大し実施したい。併せて、再造林の低コスト化に向けた実証事業を行いたい。
			・国庫補助事業に連携した再造林に要する経費の嵩上げ補助	144 ha	19,979	
			・国庫補助対象とならない箇所の苗木購入補助	1.00 ha	381	
			・再造林の低コスト技術の実証	(4ha)	2,040	
	□ 森林資源循環利用促進事業	森林/ミクス推進課	間伐材等を、ラミナ、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援	49,000 m3	25,900	県内の低質材の利用、木質燃料を推進するため、継続して行いたい。
		① ラミナ・合板等用材	30,000 m3	14,400		
		② 木質バイオマス燃料用材	19,000 m3	11,500		
□ 広葉樹林健全化促進事業	森林/ミクス推進課	ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採によるチップ等への活用を併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出等を支援	800 m3	800	今後も、ナラ枯れ被害木を含むナラ林を伐採し、害虫の駆除と合わせてナラ林の若返りに取り組みたい。	
		・ 伐採搬出及び作業道設置に対する補助	800 m3	800		
	(小計)			49,100		
I (ハード事業①+②)計	計			559,460 (637,832)		